

## 第2回伊東駅前広場整備検討部会 議事録

- 1 開催日時 令和4年8月23日（火）午前10時から正午まで
- 2 開催会場 伊東市役所 高層棟地下1階 地下会議室
- 3 出席者 ☐委員 別紙「出席者名簿」のとおり  
☐事務局 勝亦課長、岩崎課長補佐、  
島田主査、田邊会計年度任用職員  
☐市関連部署 観光課：中井課長補佐、三木係長  
産業課：里見課長補佐  
☐受託者 日本工営都市空間株式会社 3名出席

### 4 議事内容

#### （1）開会

#### （2）検討内容【伊東駅前広場 環境（広場）空間の設計について】

- 1）前回（第1回検討部会）の振り返り
- 2）導入施設のデザイン（案）
- 3）雨水の排水方針
- 4）施設配置計画（案）
- 5）今後のスケジュール

#### （3）閉会

### 5 議事経過

#### 【開 会】

#### ●事務局

定刻となりましたので、ただ今から、「第2回伊東駅前広場整備検討部会」を始めさせていただきます。開会にあたり、都市計画課長の勝亦より一言ごあいさつをさせていただきます。

#### ●事務局

おはようございます。本日は、ご多忙のところ、第2回伊東駅前広場整備検討部会に、ご参加いただき誠にありがとうございます。

伊東駅前広場の設計につきましては、前回の検討部会において駅前広場計画の基本方針、導入する各施設の設計方針、モニュメント施設の検討、施設配置計画について、ご議論いただき、概ね方針が整理できたところでございます。

本日は、前回に続きまして、設置するモニュメント施設や導入施設のデザインについて、ご議論をお願いしたいと考えております。

駅前広場の設計にあたりましては、市民や観光客にとって便利で快適かつ魅力的な施設となるよう進めてまいりたいと考えておりますので、部会員の皆様におかれましても、引き続き、ご協力をお願いいたします。

簡単ではございますが、私からのあいさつにさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

#### ●事務局

続きまして、委員の出欠について報告させていただきます。商工会議所、■■■■委員が欠席となります。

続きまして、事務局側につきましては、前回と同様であるため、紹介につきましては、割愛させていただきます。

続きまして、本日の資料を確認させていただきます。

事前に配付しております「伊東駅前広場整備検討部会 次第」、「部会員名簿」、「座席配置図」、資料1としまして「伊東駅前広場 環境（広場）空間の設計について」、資料2としまして「植栽候補樹種について」、資料3としまして「施設配置計画（案）」でございます。

資料の不足している方は、お申し出ください。

#### ー資料不足なしー

続きまして、本日の流れについてご説明いたします。

次第の2、検討内容をご覧ください。

最初に、「（1）前回（第1回検討部会）の振り返り」について、次に、「（2）導入施設のデザイン（案）」について、最後に「（3）雨水の排水方針」、「（4）施設配置計画（案）」、「（5）今後のスケジュール」について、説明をさせていただきます。

それぞれ説明後に、ご意見、ご質問をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議にて、次回の駅前広場整備検討委員会に提示する施設配置計画（案）をとりまとめたと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。事務局からの報告は以上でございます。

### 【検討内容（伊東駅前広場 環境（広場）空間の設計について）】

#### 『（1）前回（第1回検討部会）の振り返り』について

##### ●事務局

それでは、検討内容に入らせていただきます。

「（1）前回（第1回検討部会）の振り返り」について、事務局から説明をお願いします。

##### ●事務局

「（1）前回（第1回検討部会）の振り返り」について説明をさせていただきます。

説明は主に資料1に沿って進めさせていただきます。ページ数は資料の右上に表示しております。

それでは、1ページをご覧ください。第1回検討部会では、導入する各施設の設計方針及び施設配置計画（素案）について、「検討部会の目的、進捗状況及び部会のスケジュール」を確認し、「駅前広場計画の基本方針及び導入する各施設の設計方針」や、「モニュメント施設の検討及び施設配置計画」の検討を行いました。

続いて検討結果についてです。施設配置計画におけるコンセプトを『海と駅を結ぶ見通し（ビスタ）を確保し、アイストップとなる駅舎の外観（ファサード）と調和し

たオープンな広場空間の整備』とし、施設配置計画の検討を行った中で、皆様と意見交換をさせていただきました。この検討結果をまとめさせていただきましたので、説明させていただきます。

2 ページをご覧ください。まず、導入する施設についての、ご意見・ご要望といたしまして、近年大雨が降る頻度が高くなってきた中で、排水施設については、商店街へ雨水が流入することがないような排水計画としてもらいたいとのご意見をいただきました。こちらにつきましては、現地調査を行い、適切な排水計画を検討させていただくことといたしました。

また、シェルターにつきまして、一般車ロータリーの乗降場についても、シェルターを配置すべきである、とのご意見をいただきました。こちらにつきましては、これまで、一般車駐車場のマイクロバス乗降場までシェルターを配置してほしいとのご要望をいただいておりますので、あわせて検討をさせていただくことといたしました。

排水施設につきましては、後ほど、雨水の排水方針にて、シェルターの配置については、導入施設のデザイン（案）にて説明させていただきます。

その他の施設につきましては、設計方針（考え方）について、ご意見・ご質問がなかったことから、前回説明させていただいた考え方をもとに、検討を進めさせていただいております。

3 ページをご覧ください。次に、モニュメント施設についての検討結果になります。

モニュメント等の施設の選定についてですが、夫婦ヤシ、足湯、温泉やぐら、伊東祐親公の像の設置につきましては、前回検討部会において、皆様と議論させていただいた結果、候補から除外させていただくこととなりました。

これらに代わる施設として、皆様より夫婦ヤシに代わる樹木や、伊東高校にある重岡先生の像の移設、手湯や温泉が流れるモニュメント等のご意見をいただきましたので、検討を進めさせていただきました。

4 ページをご覧ください。当該施設について、現地調査等を行ってまいりました。

1 つ目は、夫婦ヤシについてですが、夫婦ヤシの横に自生する子供ヤシでも高さが約 3.5m、葉回りが約 6.0mあることを確認しました。

現時点で葉の長さが1枚あたり 3m程あることから、今後の成長を考慮すると、夫婦ヤシと同様にスペースの確保が困難であると考えますことから、子供ヤシの移植は候補から除外し、ヤシに代わる新たな樹木等の植栽を検討します。

2 つ目は、伊東高校にある重岡先生の像になりますが、高さが約 3.7m～4.0m、土台部分の大きさは、約 4.2m×1.4mと大きいものでした。

このため、伊東高校にある重岡先生の像の移設は、スペースの確保が困難であると考えますが、新たに重岡先生に依頼し、伊東駅前広場に合った、大きさやデザインのモニュメントを設置することは、可能であると考えます。

5 ページをご覧ください。3 つ目は、手湯になります。湯河原の駅前広場に設置されている手湯を参考とするため、現地を確認してきたところ、湯河原駅の手湯は、同時に複数人が利用できるようになっておりました。

手湯は、足湯と比べ、必要となる湯量は少なく、維持管理も足湯に比べ容易と考えますことから、温泉管理者との協議により、温泉をわけていただけるようでしたら、

設置する大きさにもよりますが、手湯の設置は可能であると考えます。

4つ目は水（温泉）の流れるモニュメントになります。小田原駅の東口側にある北条ポケットパークに設置されているモニュメントを参考とするため、現地を確認してきたところ、現在、水の流れは確認できず、フラワーポットが設置されている状態でした。

小田原市に問い合わせたところ、繁華街に近いこともあり、酔いつぶれた方が水辺に嘔吐するなど、衛生上問題となり、水辺をなくした現在の状況になったそうです。

水（温泉）の流れるモニュメントについては、手湯以上に湯量が必要となることや、維持管理の問題、衛生面において大きな懸念事項もあることから、候補から除外したいと考えます。

以上のことから、市としては、モニュメント施設として、重岡先生の像と手湯を設置したいと考えています。

6ページをご覧ください。事務局が考えるモニュメント施設の設置場所につきましては、営業車ロータリー出入口部のスペース①にしたいと考えます。

理由といたしましては、面積が約150㎡と比較的広いスペースであるものの、海側や3・4街区への横断ができず、有効活用することができない場所であることから、モニュメント施設を設置することで、観光客を誘導できるように、ポケットパークのようなイメージで整備したいと考えたためです。

スペース②につきましても、再度検討をしましたが、駅舎から海への見通しを確保した中で、屋根付きの休憩スポットとして整備するため、スペースに限りがあることから、市民や観光客がゆったりと休憩できるスペースを確保するため、スペース②にはモニュメント等の施設の設置はしないこととしました。

なお、モニュメント等の施設の、大きさやデザインの決定には時間を要することが予想されますので、モニュメント施設以外の、設計のとりまとめを優先して進めることといたします。

7ページをご覧ください。最後に、その他の施設について、広場の活用を考えた場合に必要となる施設として、電源や、イベント時にテント等を安全に固定できるアンカーの設置など、ご要望をいただきましたので、これら施設について、設置したいと考えています。

本日は、前回検討部会の検討結果を踏まえた中で、導入する施設デザイン等を選定し、施設配置計画（案）をとりまとめたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上で「（1）前回（第1回検討部会）の振り返り」についての説明を終わります。

### （質疑及び意見）

#### ●事務局

事務局より、「（1）前回（第1回検討部会）の振り返り」について説明させていただきましたが、まず、モニュメント施設について委員の皆様にお伺いしたいと思います。

説明させていただきましたとおり、夫婦ヤシ・足湯・温泉やぐら・伊東祐親公の像につきましては、候補から除外し、それらに代わる施設として、重岡先生に依頼して、

駅前に合った大きさやデザインのモニュメントの設置及び手湯を設置したいとの事務局の考えに対して、ご意見をいただきたいと思います。

■ 委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

重岡先生の彫刻について、前回伊東高校にあるモニュメントを移設したらどうかという話をさせていただいたが、これは例えばそういうものもあるということで、説明をしたつもりであり、必ずそれをもっていかなければということではない。重岡先生の作品は、市内のいろんな所にあるため、駅前に一つ重岡先生の彫刻があってもいいのではという考えで意見を出させていただいた。今後検討していただければ、ありがたい。

●事務局

前回の部会の中で話があったことから、伊東高校のものがどのようなものなのか、事務局としても、見てみたいということで、確認をしてきた。■委員以外にも、■委員からも「重岡先生の彫刻を(伊東駅海岸線の)通りに」という話があったので、事務局としても伊東駅に合った大きさやデザインで先生に依頼して設置することを考えている。設置する方向でよろしいか。

－意見なし－

●事務局

ご意見がないようなので、重岡先生のモニュメントを設置する方向で、進めさせていただくこととする。

次に、モニュメントを設置する場所だが、事務局としては、スペース①に設置したいと考えている。これについては、海側に横断できないということと、3・4街区にも渡れないため、活用されないスペースになる。そこにモニュメントを設置して観光客等を誘導できるような形にしたいと考えている。この場所を設置箇所にするについて、ご意見を伺いたい。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

スペース②は休憩所か。

●事務局

スペース②はベンチを置く等の休憩所として、ゆったり休んでいただくようなスペースとしたいと考えている。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

あまり大きいものだと視界を妨げてしまう。

私は、まちづくり協議会の代表として出席している。過去に、まちづくり協議会で決まったことについてお伝えさせていただきたい。

まちづくり協議会としては、駅前広場ができたならば、「モニュメントはあくまで伊東温泉に相応しいものにしないといけない。また、極力休憩スペースを広くとりたい。」との意見である。

また、私も小田原の水のモニュメントを見てきたが、市当局と視察に行った時と比べ、変わってしまっていたことに驚いた。当時は、モニュメントがすごく綺麗だった

が、先日行ったところ汚くなっており、市の管理が悪いんだなと思った。周辺は居酒屋が多く、説明にもあったように嘔吐されてしまうこともあると思うが、あまりにも汚くなってしまい、イメージと違った。都市計画課と共に視察に行った際は綺麗で、温泉でこれをやったらいいなと思ったし、湯量も少なくて済みそうだったので、まちづくり協議会では、このような施設が欲しいと考えていた。

#### ●事務局

伊東市（温泉）のイメージに合ったものという中で、大きい施設は維持管理が大変であり、スペースも限られている。温泉の活用という観点で、事務局としては手湯であれば作ることができるのではと考えた。大きいものは難しいため、大きさは検討する必要があるが、手湯をスペース①に設置することで、温泉らしい雰囲気と観光客を誘導できるような形をとりたいと考えている。

温泉らしいモニュメントということで、手湯でよいか、ご意見を伺いたい。

#### ■ 委員（観光協会）

手湯の場合、温泉をひけるかどうかが問題になる。デザインを先に決めてしまって温泉を後にすると、後から道路を掘る手間が発生するため、まず、温泉をひけるかどうかを先に確認すべきである。また、スペース①に手湯を設置しても、他に何かそこにあるわけではないので、客は行かないのではないかと。休憩スペースがあれば行くかもしれないが、ポツンと手湯だけある状態になるかもしれない。

観光協会から「温泉にまつわる施設を」と言った手前、いらないとは言えないが、物理的な問題と観光客の動線的な問題があるのではないかと考える。

伊東の宿泊施設にはほぼ温泉があるので、駅前に手湯が必要なのかは疑問である。日帰り客が多くて「なんとなく」温泉を味わいたい場合には手湯が必要かもしれないが、伊東は宿泊客が多いので該当しない。

そもそも、ここ（駅前）に温泉は来てないのではないかと。

#### ■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

2本だけ来ている。湯川区とうちの組合（水落）だけである。管は商店街の歩道まで来ていて、うちの前を通っている。ただ、後から工事をする大変である。たまたま15年ほど組合長をやっているが、70口で割り振っているうち、今空いているのは1つしかないのも、もし、温泉となった場合には今から準備が必要である。自分のところでも賃貸で貸している分があるので、そちらをやめて市に貸すという方法もあるが、確保しておいて「使いません」だと困る。そのあたりも計画に入っていないと動きにくい。

湯川区の温泉とうちの温泉は温度が同じくらいである。今はなかなか50℃以上の温泉はない。

#### ●事務局

道路上に温泉管が入っているということの中で、温泉やぐらに利用できるほど温泉が熱くないという話も聞いており、今の説明にもあったように50℃程度ということで、手湯にはちょうどいいと思っていた。分けていただくという前提のもと設置するという形で話をさせてもらったが、そもそも分けてもらえるかという話の中で、数が限られているようなので、どこか断って駅前のために持ってくるというところまでは事務

局は考えていない。ある程度湯量が豊富で余っているのであれば駅前という話しであった。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

今そういう計画があると話がしやすい。昔はうちの組合も旅館が使っているのが多かったが、今は少なくなり溢れて捨てていることもある。そういうところも考慮すればやっていけるとは思うが、後から急に言われるとできない。準備が要るので、そこも考慮してほしい。

●事務局

手湯（温泉施設）の設置に関して、この場で方向性を確認したい。先程も 委員が仰ったように、この場に温泉施設を設置しないという方向もある。委員の方の中で、どうしても温泉施設が必要という意見があれば計画に盛り込み、 （温泉管理者）と協議しなければいけないと思っている。今までの経緯を考えると、温泉にまつわるモニュメントがほしいということではあったが、諸々の事情を考えるとそこまで設けなくてもいいという考えがあるのであれば、事務局としてもスペース①については、手湯があるから来るということではなく、重岡先生のモニュメントを置き、イスを置く等してフォトスポット的な形で整備できるような計画を考えたい。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

あの場所は観光客が行って写真を撮るような場所だろうか。

●事務局

何もないと誰も来ないとは思っている。何か像があって写真を撮れるとか、ベンチ等を置いてフラワーパーク的なもので整備すれば誘導できるのではないかと考える。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

スペースは何平米くらいあるのか。

●事務局

150 平米ある。勿体ないとは思っている。本来であれば横断歩道があれば人は通るが、交通関係上の事情からつけられないため、どうしても活用できないスペースになってしまう。とはいえ 委員が言ったように交通事業者の車が出入りするため、あまり大きいものや見通しの悪いものは作れないと思っているため、設置する施設については、大きさやデザインは今後検討しなければいけないと思っている。

温泉施設を作る・作らないの中で、事務局としては、温泉施設を作ることとした場合、皆さんに具体的に「何年後にできます」とは言えないので、協議してもズルズルと後になってしまって、なかなかできないということも考えられる。

■ 委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

先程、 委員からも発言があったが、伊東温泉は、駅前だけではなくて街中に温泉がある。どうしても駅前に温泉施設を作る必要もない気がする。温泉施設は管理が大変になるので、無理やり必要なのかという後ろ向きというか疑問に思うところがある。もし作るとするならば、スペース①の場所ではなくてスペース②の場所の方がいい。わざわざスペース①に行って写真を撮って、手湯に浸かってということが、そこまで必要ではないと思う。温泉を供給する側なので、このような消極的な発言はしたくないが、個人的にはそのような感じを受けている。

## ●事務局

今までの話の中で、どうしても温泉施設ということで無視できないことから手湯という形の考えをお示しさせていただいたが、■委員や■委員からも、必ずしもそこに設置する必要はないという意見もあったので、事務局としては維持管理のこと等も考えると、できれば設置しない方向で計画を進めていきたいと考えるが、いかがか。

## ■■■■■委員（観光協会）

これは JR が行うことかもしれないが、先日ブラタモリで紹介されたように、元々傷病兵の療養のために、物資の確保が大変な時でも先に伊東線を引いたという歴史もある。手湯等の実際のものはいらないかもしれないが、「伊東温泉の温泉は元々こういうことに資しましたよ」というようなモニュメントの設置とか説明版のような簡易なものなど、あまりクドクドやっても読む人はいないのかもしれないが、特別な話であるし、駅であるため、そういうものであれば場所も取らないので、休憩施設のところに立てる等あってもいいかと思う。■委員が仰ったように、今■委員とも話したが、手湯はいらないのではないかと思う。（他の方に怒られるかもしれないが）

## ■■■■■委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

お湯はどうしても足りなくなる場合もあるため、個人的には駅前広場に温泉は必要ないと思う。

ただ、休憩地があまり隅に寄ってしまうとよくない。どこの街を見てもセンターに近いところにある。そうでないと賑わいが出ない。更にモニュメントも何もないとすると、ただのただっ広い空間になってしまうので、その辺りは考えてほしい。

## ●事務局

今の流行りでいうとフォトスポットのようなものしか思いつくものがない。

## ■■■■■委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

広場は休憩スペースがすごく大事である。

## ●事務局

先ほども申し上げたように、ポケットパーク的なもので花を植える等して「あそこは何だ」と思ってもらい、観光客に像なり駅舎をバックに写真を撮ってもらえるようなことをして、少しでも有効に活用できるような形で整備したいと考えている。本当は真ん中の方に作るのが一番よいのだろうが、目的としてはそこでイベントをやるために広場の空間を大きくしたいため、全体の活用とすると（休憩スペースは）端になってしまうが、利活用のためにモニュメント施設をそこに配置することにはご理解をいただきたい。

## ■■■■■委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

ベンチは大事である。伊東温泉は熱海のように若者ばかりではなく、お年寄りが多い。我々団塊の世代がいなくなれば減っていくのだろうが。どこも後期高齢者ばかりになると、ベンチに座る。ベンチの管理が大事であり、汚くなってしまっているところはダメになる。

## ●事務局

温泉施設は作らない方向で進める。

ポケットパーク的な形として整備して、細かいものは今後何を作るかというのは検



討の余地もあるが、ベンチ等を置いてそこで休憩できるような施設にしたいと思っている。そういう方針でスペース①は整備していきたい。

今のまとめとして、温泉施設は駅前には作らない方針とする。モニュメントについては、重岡先生に依頼して「伊東駅前で、温泉らしい」イメージのデザインでお願いし、設置場所はスペース①とする。大きさ等は見通しのことも考え、今後検討を進めさせていただく。

## 『(2) 導入施設のデザイン (案)』について

### ●事務局

続きまして、「(2) 導入施設のデザイン (案)」について事務局から説明をさせていただきます。

### ●事務局

「(2) 導入施設のデザイン (案)」について説明をさせていただきます。

8 ページをご覧ください。まず、説明の流れについてになりますが、最初に (1) 施設の色調について、色調の方針を説明させていただきます。その次に、(2) 導入する施設のデザイン (案) について、歩道舗装のデザイン (案)、シェルターのデザイン (案)、サインのデザイン (案)、ベンチのデザイン (案)、柵及びボラード (車止め) のデザイン (案)、植栽樹種の選定 (案)、照明施設のデザイン (案)、その他の施設のデザイン (案) の順に説明をさせていただきます。

それでは、9 ページをご覧ください。(1) の施設の色調についてになります。

色調の方針といたしましては、「駅舎ファサードとの調和」に重点をおき、広場全体で統一感のある色調とします。

その中で、道路付属物につきましては、国土交通省の「景観に配慮した道路付属物等のガイドライン」や、静岡県「ふじの国色彩・デザイン指針」の推奨色より、どんな場所にも合わせやすい落ち着いたダークブラウン系といたします。

また、その他の施設につきましては、「伊東市景観計画」に基づく色基準内にて、駅舎のファサードと調和した明るいホワイト系をベースに配色することといたします。

10 ページをご覧ください。次に (2) 導入する施設のデザイン (案) についての説明となります。

まず、歩道舗装のデザイン (案) についてです。舗装材の選定にあたりましては、「透水性のある水はけの良い素材であること。」「色調や表面仕上げが豊富で変化に富んだデザインが可能であること。」「比較的高級感もあり、多くの広場、公園などで実績が豊富であること。」「地下埋設物の工事などでも、補修が容易で工事跡が目立たないこと。」などから、平板ブロック舗装を選定します。

デザイン (案) については、広場空間と歩行空間をわけて舗装デザインを検討し、駅舎ファサードと調和した色彩とします。

11 ページから 16 ページに、歩道舗装のデザインの参考 (案) を 3 案つけさせていただきました。3 案とも海辺の水面をイメージしたデザインとなっております。

11 ページ、12 ページをご覧ください。参考案、A 案になります。

A案の広場空間のデザインは、ホワイト、ベージュ、ライトブロンズ、サクラ、ブルー色の平板ブロックを使用し、駅舎ファサードと調和した、明るいポップなイメージで、にぎやかな駅前広場演出しております。

また、歩行空間は、ベージュ色のストライプタイプの平板ブロックを使用し、市松模様を配したデザインとなっております。

続いて13ページ14ページをご覧ください。参考案、B案になります。

B案の広場空間デザインは、落ち着いたグレー系の色の平板ブロックをベースとしたデザインとなっております。

また、歩行空間には、ホワイトやグレー色の細いボーダーを入れた平板ブロックを使用し、海辺の穏やかな波を表現しております。

続いて15ページ、16ページをご覧ください。参考案、C案になります。

C案の広場空間デザインは、ホワイト、キャメル、オリーブグリーン色をベースに、ボーダーデザインの平板ブロックを使用し、押し寄せる波をイメージした広場空間にしております。

また、歩行空間はホワイト、グレー、ピンクベージュ色のサイズ違いの平板ブロックの組合せによって、にぎやかさを演出したデザインとなっております。

なお、事務局としては、明るい空間を演出できることから、A案が良いのではないかと考えております。

次に17ページをご覧ください。シェルターのデザイン(案)についてになります。

シェルターの形式には、主に、アルミハニカムパネル、膜材、ガルバリウム鋼板、ポリカーボネート材があります。形式の選定にあたり、この4つの形式を現地の条件を考慮した中で比較した結果、「形状の自由度が高く軽量の素材で現地にあった形状が可能であること。」、「適度な透光率を有し、均等に明るい空間を確保できること。」、「駅舎ファサードにあった色調の屋根材料で明るい空間を確保できること。」、「東京ドームや天城ドーム等にも使用され、駅前広場での実績も豊富であること。」、「基本的にメンテナンスフリーであること。」などの理由から、『膜材』を選定いたします。

18ページをご覧ください。こちらは、シェルター形式の参考写真となります。

右上の写真が膜材を用いたシェルターの写真となります。

夜間は、照明の光が膜材に反射し、明るい空間が演出され、昼間とは違った雰囲気醸し出すことができます。

続いて19ページをご覧ください。シェルターのデザイン(案)になります。

膜材を使用したシェルターの形状には、片持ち式R屋根、片持ち式直線屋根、門型(両柱)R屋根がありますが、膜材の特徴である形状自由度を生かした、特徴のある柔らかなイメージをつくりだすことができ、片持ち式で柱を車道側に設置することにより広い歩行空間が確保できる『片持ち式R屋根』を基本デザインとします。

20ページをご覧ください。こちらは、シェルターデザイン(案)の参考写真です。

左側の写真が、片持ち式R屋根の設置例になりますが、他の形状に比べますと、一番柔らかさを感じられると思います。

続いて21ページをご覧ください。一般車乗降場等へのシェルターの設置についてになります。前回までに、一般車ロータリーや一般車駐車場の乗降場へのシェルター

の配置についてご意見をいただきましたので、検討結果を報告させていただきます。

21 ページ右側の設置例の断面図をご覧ください。一般車ロータリー乗降場や市営駐車場の歩道は、現在の計画（案）では、歩道幅を 2 m としております。

2 m の幅員の歩道にシェルターを設置した場合、設置できる屋根幅が約 1.5 m となりますが、その中に柱が建ちますので、実質有効幅員は 1.0 m 程度となります。

この有効幅員や雨天時の吹き込み等を考慮しますと費用対効果が低く、また、雨天時以外の利用が不便になってしまいますので、歩道幅員 2 m の箇所へのシェルターの設置は行わないこととさせていただきます。

次に 22 ページをご覧ください。案内サイン等のデザイン（案）についてになります。

まず、既存施設の確認になりますが、現在の駅前広場には、駅舎内案内サイン、金の郵便ポスト、周辺観光案内サイン、バス案内サイン等があります。

駅舎内案内サインについては、J R との協議が必要となりますが、整備後も現在の位置にそのまま残存する予定です。

金の郵便ポストについては、駅前広場内の支障とならない位置へ、移設したいと考えております。

周辺観光案内サイン及びバス案内サインについては、国や県の補助金を活用し、整備した施設でありますので、移設又は新設の有無、並びに、設置位置につきましては、管理者である市観光課やバス事業者と協議して決定したいと考えております。

新設する場合につきましては、23 ページをご覧ください。案内サインのデザイン（案）になりますが、24 ページのアルミ製のシンプルタイプ、25 ページの再生木材化粧タイプ、26 ページのレンガタイル化粧タイプ、27 ページの再生木材化粧タイプの 2 本脚タイプの 4 案を候補としてあげ、比較検討した結果、23 ページの比較表のとおり、デザイン性や経済性に優れている『再生木材化粧タイプの 2 本脚タイプ』を選定します。

次に 28 ページをご覧ください。ベンチのデザイン（案）になります。30 ページの再生木材デザインタイプ、31 ページの再生木材シンプルタイプ、32 ページの再生木材特殊タイプの 3 案を候補としてあげ、比較検討した結果、28 ページの比較表のとおり、利便性、デザイン性、経済性に優れた『再生木材シンプルタイプ』を選定します。

続いて 29 ページをご覧ください。柵及びボラード（車止め）のデザイン（案）になります。柵及びボラード（車止め）につきましては、ベンチのデザインに合わせた『再生木材シンプルタイプ』を選定します。

次に 33 ページをご覧ください。植栽樹種の選定（案）になります。

樹種選定の基本方針といたしましては、「都市環境圧に強く、管理の比較的容易な樹種であること。」、「海岸に近接する立地条件より、耐潮性をもった樹種であること。」、「特徴があり、駅舎や他の施設と調和しやすい樹種であること。」、「オープンで明るい空間になるよう、大木とならない樹種であること。」、「四季の移り変わりが感じられ、空間に潤いと彩りを与えられる樹種であること。」を基本といたします。

この基本方針に基づき、植栽候補樹種について説明をさせていただきます。

植栽スペースといたしましては、スペース①、スペース③、ロータリー交通島、広場と道路の段差解消の植栽帯を考えております。

スペース①は、営業車ロータリーの出入口部となるため、見通しを考慮し、芝生や、イソギク・アガパンサス等の地被類を植栽します。

資料2の2枚目上段中央部をご覧ください。イソギクは、潮風に強い海浜植物であり、アガパンサスは、芝生との相性が良いことから、スペース①に選定しました。

スペース③は、緑陰樹を配した休憩スポットとして考えておりますので、常緑中高木であるシマトネリコを植栽します。また、樹下にはガザニア類の地被類を植栽します。

資料2の1枚目上段中央部をご覧ください。シマトネリコは、病虫害もなく強健であり、葉が細かく、爽やかな印象を与える樹木です。また、資料2の2枚目上段右側をご覧ください。ガザニア類は、丈夫で管理も容易であることから、スペース③に選定しました。

ロータリーの交通島は、供用開始後の維持管理を考慮し、土舗装または人工芝を張り、メンテナンスフリーになるよう整備します。

広場と道路の段差解消の植栽帯には、マルバシャリンバイ等の低木を植栽します。

資料2の1枚目下段の右側をご覧ください。マルバシャリンバイは、環境圧に強く、耐潮性、耐乾性に優れた樹木であり、メンテナンスも容易であることから広場と道路の段差解消の植栽帯に選定しました。

続いて34ページをご覧ください。雑草防止対策についてになります。

主に交通島などの雑草防止対策になりますが、植栽する樹種等によっても対策が異なります。マルチング材、防草シート、土舗装等が対策方法として考えられますので、これらを用いて、雑草が生えにくい構造を検討してまいります。

次に35ページをご覧ください。照明施設のデザイン（案）になります。

再生木材化粧タイプ、駅舎照明調和タイプ、角柱シンプルタイプの3案を候補としてあげました。36ページの再生木材化粧タイプは、合成木材で化粧した温かみのあるタイプとなっております。37ページの駅舎照明灯調和タイプは、駅舎の柱に設置されたランプ風ブラケット照明と調和したタイプとなっております。38ページの角型シンプルタイプは、シンプルな角柱で和洋どちらにも調和しやすいタイプとなっております。

この3案を比較検討した結果、35ページの比較表のとおり、耐久性デザイン性、維持管理性に優れた角柱タイプを選定します。

シェルターにも照明施設を設置することになりますが、広場全体との調和を考えた場合に、シンプルな角柱シンプルタイプが適しているのではないかと考えます。

次に39ページをご覧ください。その他の施設のデザイン（案）になります。

イベント用の電源のデザイン（案）についてになりますが、電源については、地下埋設とした場合、漏電の危険性が懸念されるため、地上式を基本とします。また、設置位置は、照明灯横や植栽地など目立たない位置にすることといたします。

デザイン（案）については、ステンレスタイプ、角鋼管タイプ、ライトアップ灯兼用タイプの3案にて比較検討した結果、海岸に近接する立地条件より耐久性が高い製

品を選定することとし、ステンレスタイプを選定します。

また、前回、アンカーについてもご要望いただきましたが、アンカーの設置については、設置することを前提とし、市観光課及び産業課と協議を行い、設置位置等を決定してまいります。

以上で、「導入施設のデザイン（案）」についての説明を終わります。

この後、各施設のデザイン（案）について、皆様からのご意見をいただきながら決定してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

### （質疑及び意見）

#### ●事務局

事務局より「（２）導入施設のデザイン（案）」について説明させていただきましたが、項目ごとに、ご意見・ご質問を伺えればと思います。

#### □色調の考え方について

まず、色調の考え方について、「駅舎ファサードとの調和」に重点をおき、広場全体で統一感のある色調とする。道路付属物は、国土交通省のガイドラインや、静岡県色彩・デザイン指針の推奨色より、どんな場所にも合わせやすい落ち着いたダークブラウン系とし、その他の施設は、「伊東市景観計画」に基づく色基準内にて、駅舎のファサードと調和した明るいホワイト系をベースに配色する方針に対し、ご意見はありますでしょうか。

－意見なし－

#### ●事務局

これは方針なので、基本的なところになる。このような方向性で行くということでご理解をいただきたい。

#### □歩道舗装のデザイン（案）について

#### ●事務局

続いて、歩道舗装のデザイン（案）についてA案、B案、C案について説明をさせていただきましたが、事務局としてはホワイト・ベージュ・ライトブロンズ・サクラ・ブルー、いろんな種類を使った平板によって、ポップな明るいイメージで整備したいと考えている。その他B案については、グレーをメインにした波をイメージした波をイメージしたデザイン。C案については、これもブラウン系の配色によって波をイメージしたデザインとなっている。

皆さんの中でどのデザイン（案）が良いかお伺いしたい。

#### ■委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

これはデザイナーが入っているのか。

#### ●事務局

デザインをしてくれている人が入っている。

#### ■委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

色が濃い方が落ち着いていてよい。最初は明るいものもいい印象に見えるが、できるとみると、ブラウン系等濃い色が落ち着いて見える。ただ、こういったものはデザイナーが決めるだろう。

●事務局

これ自体デザイン系の人が入っており、海をイメージした形で3案ほどにまとめた。委員からあったようにブラウン系の濃いものもあり、濃淡は調整次第だが、ブラウン系だとC案になる。他はグレー系と様々な色を使った配色のものがある。どちらかというと色の割合はこれから検討の必要があるにしても、A案もベージュやブラウン等、ブラウン系になっている。

■委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

視察に行ったところでは、レンガ調のものもあった。車道との境目がつけやすいというメリットがある。

▽観光課

施設管理の観点から、色彩等は置いておいて、平板のブロック舗装とのことだが、スケボーの問題があると思う。駅前はかなり広く24時間オープンしているので、お客さんが少なくなってくる夜間は若者が溜まったりスケボーをやったりする人が出てくるのではないかとと思われる。そういった方が利用する時に破損させられる可能性があるが、その点について検討されているのか。

●事務局

そこまでは検討していない。ブロックによって表面の仕上げ方によってツルツルだったりスリットが入っていたりするものもあるので、それらを組み合わせながら検討していきたいと思っている。スケボーは表面がツルツルしている方が滑りやすいということもあるので、対策としてスリット仕上げにしてスケボーで走った場合はガタツキがあるものにするということも考えられると思う。頂いた意見を考慮しながら、材料の検討をさせていただきたい。

●事務局

実際の材質については今事務局が説明したようにスケボーができないような表面加工も含めて検討していきたい。

■委員（伊東温泉旅館ホテル協同組合）

個人の感性になってしまうので事務局も決めるのが大変だと思うが、利便性・実用性として考えて、汚れが目立たないとか傷が目立たないことについてA案・B案・C案の中でどれが1番目立たないのか。

●事務局

基本的には暗めな色の方が目立たない。今回はどれも同じ平板ブロックでやっていて、亀裂が入ってしまっても交換が必要になった時もどれも同じようなメンテナンス方法になるので、管理の仕方は同じになる。

■委員（伊東温泉旅館ホテル協同組合）

観光客も十人十色なので、どの色が好き、どの色が印象に残るかというのはバラバラだと思うので、あまりそこは考えても仕方ないので、いかに清潔感がアピールできるのか、傷が目立たないのか、汚れが目立たないのかを考えた方がよい。イメージ的にはC案が良いのではないと思う。

●事務局

色目については、細かいデザインは今後デザイナーが入って検討するので、配色は

別としてC案のようなブラウン系で進めるという方針で決めさせていただきたい。

■ 委員（伊東温泉旅館ホテル協同組合）

A案だとスケボーに壊されたら汚くなってしまいそうに見える。

●事務局

デザインが駅舎に合っているかどうかは、景観審議会というものもあるので、こちらにも意見を図ろうかと考えている。柄自体は決定ではないが、方向性としては、C案のようなブラウン系の方で進めさせていただきたい。

■ 委員（観光協会）

汚れ、安全面もあるが荷物について、多くの観光客がキャスター付きのキャリーケースなので、ガタつくと不便になる。外国人の場合は更に荷物が大きくなるので、そこがちゃんと引きやすいようなデザイン・材料にさせていただきたい。

●事務局

ご意見があったようにスケボーができないように、且つキャスターに不便がないよう、そういったことも考慮したデザインは、今後検討していきたい。現状で決定はできないので、方向性としてはC案にさせていただく。

#### □シェルターのデザイン（案）について

●事務局

続いて、シェルターのデザイン（案）について、アルミハニカムパネル、膜材、ガルバリウム鋼板、ポリカーボネート材のうち、事務局としては、膜材を選定したいと説明させていただいたが、ご意見があれば伺いたい。

具体的にこの場でどれと言うのも、ものを見てみないと分からないと思う。

事務局としては、夜間の街灯も含めて柔らかなイメージでいいかと思うが、方向性としては加工ができて暖かみがあるという点で膜材がよいのではないかと考えている。素材については膜材を選定するということで、進めさせていただいてよろしいか。

■ 委員（観光協会）

これは透明なのか。

●事務局

白色になる。

■ 委員（観光協会）

嵐があったときに葉が溜まって汚くなることがある。メンテナンスがしにくいので、他にも採用実績があるので大丈夫だとは思いますが、黒ずんでしまう等が目立たなければそれでよいと思う。

●事務局

今は材料もかなりよくなっているようで、掃除をしなくても綺麗な状態が長く保たれる材質になっている。膜材にも種類があるので、頂いた意見を基に気をつけて選定をしていきたい。

●事務局

シェルターの形式については膜材を基本として決めさせていただく。

続いて、配置についてだが、事務局としては、トイレ横の狭いスペースの歩道幅が狭いところについては設置しない方針としたが、これについてご意見はあるか。

■ 委員（観光協会）

当初の身障者の所だけという形から、その後そこに集中してしまうので伸ばせないかということになったが、技術的には幅の問題で無理だということか。

●事務局

幅員が2mの歩道にシェルターを設置した場合、柱の位置を考慮すると、屋根の下に歩行できるスペースが1mほどしか確保できない。そうすると使い勝手も悪く、晴れた日にも幅員自体、実質1.5m程度しか確保できなくなることから、2m程度の歩道部にはシェルターを設置しない方向で考えていきたい。

■ 委員（伊東温泉旅館ホテル協同組合）

マイクロバスの所もつけないということか。

●事務局

こちらも歩道幅員自体は2mである。

■ 委員（観光協会）

歩道を広げることにはできないのか。駐車場スペースの問題があるということか。

●事務局

マイクロバスの出入りができるようであれば、多少歩道を広げることではできると思うが、検討結果次第であるため、今回歩道幅員2mの場所についてはシェルターの配置はできないという説明をさせていただいた。

●事務局

駐車場にマイクロバスを止められるよう軌跡を描いたため、これ以上狭くなると、マイクロバスが頭を突っ込んでバックできるようなスペースはないかと思う。

■ 委員（伊東温泉旅館ホテル協同組合）

スペース的にできないということか。

●事務局

スペース的な問題である。

■ 委員（観光協会）

できれば実際の切返しを見て幅が広げられるのであれば、バスが停まる部分だけでも広げていただきたい。仮にできなかった場合、駐車場の歩道入口部分までは欲しい。なるべくお客さんが濡れないようにしたい。

●事務局

今ご意見があったように、バスのシェルターから駐車場の歩道に行くまでの間は検討させていただく。

シェルターについては、トイレ横の乗降場については設置しない方向で、また駐車場の方については再度検討させていただくこととする。

□サインのデザイン（案）について

●事務局

続いて、サインのデザイン（案）について、デザイン性や経済性に優れている再生木材化粧タイプの2本脚タイプを選定させていただいたが、ご意見があればお伺いしたい。



●事務局

デザインということで全体的なバランスもあると思うが、再生木材化粧タイプの2本脚タイプを選定し進めさせていただく。

□ベンチ・柵及びボラード（車止め）のデザイン（案）について

●事務局

続いて、ベンチ、柵及びボラード（車止め）のデザイン（案）についてで、事務局としては、再生木材シンプルタイプがよいのではないかと考えたが、ご意見があれば伺いたい。ご意見がなければ、事務局が選定したタイプで進めさせていただきたい。

●事務局

事務局としてはB案を選んでいるが、AもBも同じ再生木材に対してシンプルなものか少しデザインされたもののかの違いである。基本的にはシンプルなものを考えて設計を進めるが、場合によってはA案も組み合わせた方がよりよくなるのであれば、柔軟な対応で設計をしていきたい。ベースはB案で進めさせていただきたい。

●事務局

シンプルなものかよいのか、デザインされたものがよいのかご意見をいただきたいところだが、全体のバランスを見ないと難しいので、シンプルなものをベースに考えさせていただいて、場合によってデザイン性のあるものを組み合わせる方針としたい。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

サイズはどんなものか。

●事務局

ベンチは全て同じ規格で、1.8mの長さとなっており、シンプルかデザインされたもののかの違いになる。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

全て屋外用か。

●事務局

全て屋外用である。

▽観光課

写真に載っているものが実際に置かれるのか。ユニバーサルベンチはどこに設置するのか。

●事務局

バス乗降場の待ちスペースに設置する。

●事務局

スペース①②③に設置するのは、デザインもイメージも（資料の）写真のようなものを設置することとなると思うが、そのデザインでいいのか、もっと特殊なものがいいか、そういうご意見をいただきたい。

▽観光課

スペース③に植栽ベンチとあるが、植栽があつてその周りを囲うサークルベンチな

どを考えていたが、どのようなものか。

●事務局

植栽ベンチがイメージされた図はないが、スペース②に置くようなベンチと同様である。

◆業 者〔日本工営都市空間(株) 〇〇〇〇〕

ベンチは全て同じものである。植栽ベンチは全て囲うのではなく、2方向にベンチを置いて高さを変える予定である。普通のサークルベンチではない。

▽観光課

デザインとなると趣味の話になるが、シェルターは、膜を使用した近代的なデザインとなり、ある程度明かりは間接照明的にとる中で、近代的なデザインのシェルターの下に木材でできたデザインのベンチがあることが、個人的にイメージできない。例えばシェルターの下はC案、植栽の近くは暖かみのあるB案というような、ロケーションに応じた置き方とか、そのイメージに合った置き方を検討していただきたい。全部一緒になくてもいいと思う。

●事務局

場所に応じたデザインにしてはどうかという案があったが、シェルターについては屋根の部分は白系ベースでのデザインになるが、柱の色は別の色を想定していることから、それによってもイメージは変わる。挙げた3案いずれもベースは再生木材であるため、今後シェルターの実際の色味を確認しながら最終的なデザインを決定したい。再生木材を使用したタイプをベースに検討を進めさせていただきたい。

●事務局

A案にするとかB案にするとかではなく、全体のデザインの中でそれぞれに合わせてB案のものを使ったり、C案のものを使ったりとする形で検討していきたい。まずは石で作ったもの等ではなく、再生木材を使用した材料とする方針で決めさせていただきたい。

□植栽樹種の選定（案）について

●事務局

続いて、植栽樹種の選定（案）について、ご意見を伺いたい。

■〇〇〇委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

広場と道路の段差解消の植栽帯とあるが、どういう意味か。

●事務局

測量結果整理中なので断面図を示せないが、道路と改札口付近の高さを見ると、高低差があるので、この場所に植栽帯を設置したいと考えている。

■〇〇〇委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

境目に植栽を作るという意味合いか。段差を解消するという意味ではないということでしょうか。

●事務局

そのとおりである。

■〇〇〇委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

小さい植栽になるということか。

●事務局

低木を考えている。

■ 委員（観光協会）

横断できないようにしてしまうということか。極端に低くしても、無理やり渡ろうとする人が出てくるので、高さの調整が必要であると思う。

■ 委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

イベント等やる時など、広場に車両が入るといったことはないか。

●事務局

一般車ロータリーのところにボラードを設置するので、それを取り外し式にすれば進入できる。詳細は関係機関等と協議し、決定することとする。

●事務局

植栽樹種の選定については、事務局が考える方針で進めることとする。

□照明施設のデザイン（案）について

●事務局

続いて、照明施設のデザイン（案）について、角柱シンプルタイプを選定させていただいたが、ご意見を伺いたい。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

低位置照明はやめた方がいい。いちょう通りが大失敗している。非常に暗い。

●事務局

参考にさせていただく。その他ご意見がなければ、照明施設のデザイン（案）については、角柱シンプルタイプを基本としてデザインさせていただくこととする。

□その他の施設（電源のデザイン（案））について

続いて、その他の施設として、電源やテントを固定するアンカーについては設置する方向で考えている。電源については埋設式ではなく、地上式を用いるということによりかと思う。デザインについてもA案のステンレスタイプを考えているが、シェルターと同様に全体のデザインのバランスになる。A案のステンレスタイプで進める形によろしいか。

■ 委員（観光協会）

ステンレスタイプは写真を見た感じ、ロッカーに見える。何かを貼るとか、調和させるようにしてほしい。

●事務局

目立たない場所への設置を想定している。もし人目につく場合は、いただいたご意見を考慮し、検討させていただく。

■ 委員（伊東温泉旅館ホテル協同組合）

あまり格好の良い物ではないから、ライトアップをつけてしまえばいいのではないか。足元を照らすものということによりか。

◆事業者〔日本工営都市空間株式会社〕

樹木を照らすライトアップである。

●事務局

イベント用の電源ということで、あまり広場の真ん中には置けないが、それを今後

協議させていただきたい。

■ 委員（伊東温泉旅館ホテル協同組合）

電源は何か所置くのか。

◆ 事業者〔日本工営都市空間(株) 〕

1つで2口電源が供給できるので、設置数は限られる。

● 事務局

電源は、支障がない所に置きたいと思っている。設置数も限られることから、足元灯としてはあまり考えていない。あくまでイベント用である。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

隅に置かなくてはどのようなものではないか。

● 事務局

仰る通りである。事務局としてもシンプルなもので、ステンレスタイプがいいのではないかと考えている。

■ 委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

ライトアップ灯兼用タイプにステンレス製のものはないのか。

ステンレスタイプと鋼管タイプの比較ならわかるが、ライトアップ灯兼用タイプが比較に入るのはおかしいのではないか。

● 事務局

今挙げているのは鋼管タイプである。

■ 委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

ステンレスタイプの方が、耐久性があるということで選定しているということか。

● 事務局

その通りである。

■ 委員（伊東市地域行政連絡調整協議会）

ライトアップのできるステンレスタイプあるならそれに越したことはないということか。ただ、端へ置くものなので、そんなに凝ったものでなくてもいいと思う。

■ 委員（伊東駅前地区まちづくり協議会）

今まで我々が駅前広場でイベントをやった時には、駅長が厚意で駅構内から（電源を）引っ張っていた。かなりの距離だが、テープで塞いでやった。広場にあれば支障はない。使いやすい。

● 事務局

それでは、照明については、端に設置するということの中で、凝ったものではなく、事務局が提案した耐久性に優れている A案のタイプで進めさせていただく。

### 『（３）雨水の排水方法、（４）施設配置計画（案）、（５）今後のスケジュール』について

● 事務局

続きまして、「（３）雨水の排水方針」、「（４）施設配置計画（案）」、「（５）今後のスケジュール」について事務局から説明をさせていただきます。

● 事務局

「(3) 雨水の排水方針」について説明させていただきます。

40ページをご覧ください。前回の会議後、雨水処理の検討のため、再度現地調査を行いました。

伊東駅の近くには、普通河川弁天川と普通河川ゆがわが流れております。この河川に向けて、(都)伊東駅海岸線、(都)伊東駅伊東港線(都)、伊東下田線の道路排水施設が埋設されている状況です。

伊東駅前広場の整備にあたりましては、駅前広場や市営駐車場に新設の排水側溝を設置し集約して、普通河川や既設道路排水施設に接続し排水してまいります。

現在、駅側の敷地と道路の境には側溝は設置されていないため、雨水はそのまま道路に流れてしまっている状況ですが、側溝の設置や、歩道舗装を透水性のブロックを使用することにより、表面水を処理するため、駅前広場側の雨水が、道路や商店街へ流入する量は、現状より小さくなると考えます。

なお、排水施設の詳細については、河川管理者や道路管理者と協議を行い、設計を進めてまいります。

次に、「(4) 施設配置計画(案)」について説明させていただきます。

41ページをご覧ください。施設計画(案)につきましては、第1回駅前広場整備検討部会でのご意見等をもとに、施設配置計画(素案)を修正し、施設配置計画(案)として作成したものが、資料3の計画(案)となりますので、資料3をご覧くださいながら、施設等整備方針(案)の説明をさせていただきます。

スペース①は、先ほど説明しましたとおり、比較的まとまった空間であるものの、有効活用することができない場所でありますことから、モニュメント等を設置するなどして、観光客等を誘導できる、シンボリックな空間になるよう、整備してまいります。

次にスペース②は、駅舎とバスおよびタクシー乗降場を結ぶ動線の結節点付近に位置しておりますことから、駅舎やシェルターと調和した屋根を設け、ベンチ等を設置するなど、くつろぎ空間として整備するとともに、案内サインや、デジタルサイネージ等の情報伝達施設を設置してまいります。

次にスペース③は、駅舎と湯の花通り方面を結ぶ動線及び一般車の乗降場であり、狭小な空間ではありますが、緑陰樹やベンチ等を配置し、休憩場所となるよう整備してまいります。

次に広場空間につきましては、改札口正面のまとまった広場スペースを確保し、イベントや災害時の避難場所など、多目的に利用ができるよう、基本的には施設の配置は行いません。

また、道路側には、車道と広場の段差解消及び緩衝帯として植栽地を設置します。

以上が、前回会議での検討結果を踏まえ作成した施設配置計画(案)となります。

次に43ページをご覧ください。「(5) 今後のスケジュール」について説明をさせていただきます。

伊東駅前広場整備検討部会につきましては、施設配置計画(案)のとりまとめをもって完了となりますが、本日施設配置計画(案)がまとまらない場合は、内容にもよりますが、第3回検討部会を開催したいと考えております。

続いて、伊東駅前広場整備検討委員会につきましては、本日計画(案)がまとまっ

た場合、第8回検討委員会を令和4年10月頃に開催予定とさせていただきます。

この検討委員会です承を得られた内容を概略設計に反映させ、令和5年2月下旬開催予定の第9回検討委員会にて、設計の成果を報告できればと考えております。

以上で「(3) 雨水の排水方針」、「(4) 施設配置計画(案)」、「(5) 今後のスケジュール」についての説明を終わります。

#### **(質疑及び意見)**

##### **●事務局**

事務局より「(3) 雨水の排水方針」、「(4) 施設配置計画(案)」、「(5) 今後のスケジュール」について説明をさせていただきましたが、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

－意見・質問なし－

##### **●事務局**

ご意見がないようなので、説明させていただいたとおり、計画を進めさせていただくこととする。

#### **【閉 会】**

##### **●事務局**

それでは、本日の検討内容については、以上となります。

本日の会議にて、若干の協議するところはあるのかと思うが、施設配置計画(案)を、概ねとりまとめることができましたので、今回の会議をもって部会を終了させたいと思いますが、ご意見はありますでしょうか。

－意見なし－

ないようなので、今回の部会をもって、この会を終了させていただきます。

部会でのご意見を反映させた計画(案)を、令和4年10月頃の開催を予定しております、第8回伊東駅前広場整備検討委員会にて提示できればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、第2回伊東駅前広場整備検討部会を閉会とさせていただきます。部会員の皆様、ありがとうございました。

以 上

## 第2回伊東駅前広場整備検討部会

### 出席者名簿

番号	区分	所 属		氏 名
		名 称	役 職	
1	観 光 業	一般社団法人伊東観光協会	会 長	■■■■■■■■■■
2		伊東温泉旅館ホテル協同組合	理 事 長	■■■■■■■■■■
3	商 業	伊 東 商 工 会 議 所	副 会 頭	■■■■■■■■■■ (欠席)
4		伊 東 市 商 店 街 連 盟	会 長	■■■■■■■■■■ (欠席)
5	住民代表	伊東市地域行政連絡調整協議会	湯 川 区 長	■■■■■■■■■■
6	地元地権者団体	伊東駅前地区まちづくり協議会	会 長	■■■■■■■■■■

(敬称略、順不同)

※ 事 務 局：伊東市建設部都市計画課まちづくり推進係

課 長 勝亦 俊介

課長補佐 岩崎 光博

主 査 島田 祐基

会計年度任用職員 田邊 優

市関連部署：観光課

課長補佐 中井 智実

係 長 三木 恵介

産業課

課長補佐 里見 和彦